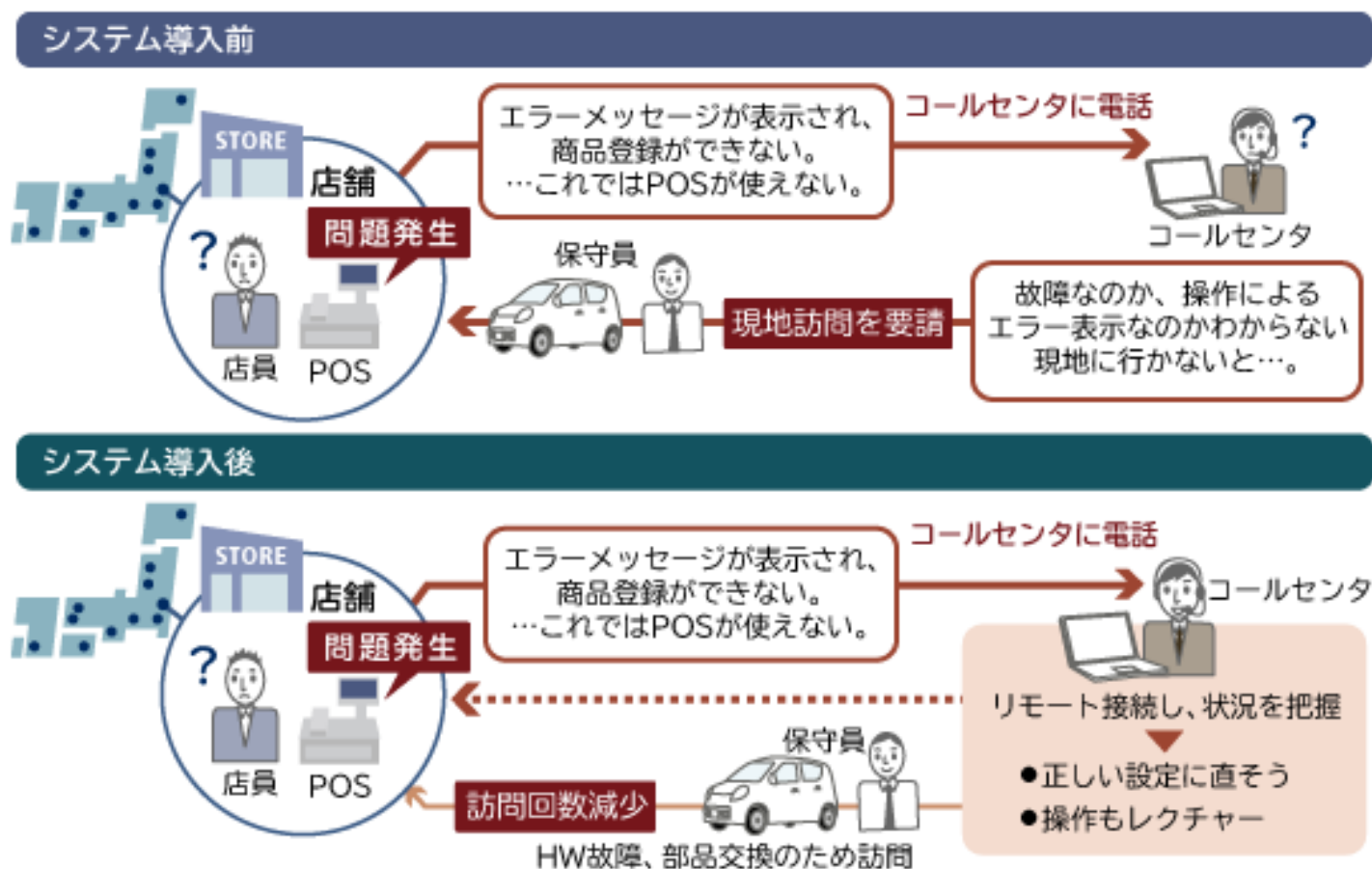


WinShare 環境負荷評価モデル

異常が発生した場合、従来システムでは原因特定から正常稼働のため現地訪問し、確認～メンテナンス作業を実施。

リモート操作ツールを利用することで、ハードウェア障害を除く、人的（操作）エラー、ソフトウェア障害により発生した事象の約5割をメンテナンス可能。

システム導入後では、保守員の訪問回数（人の移動）の削減が可能となる。



コールセンターから各店舗に設置されたPOSをリモート操作することで、保守員の訪問回数10,000回を6割削減、CO₂を136t削減。

